

豪雨警戒センサーの共同研究開発を実施

都民への調査をもとに、産学公連携で防災システムを構築

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（理事長 奥村 次徳、以下、都産技研）と拓殖大学工学部（学長 川名 明夫）、フィード工業株式会社（代表取締役 藤本 和三）は、住宅地や学校などへの豪雨災害を軽減するため、都民の防災意識の調査に基づく共同研究「豪雨警戒モニタリングシステムの開発」を実施しています。

1 背景と目的

近年、住宅地での豪雨災害が増加しています。予想を大きく上回る降水量が、山間部や新興住宅地のほか、都市部でも道路冠水などを発生させ、都民生活に大きな被害を及ぼしています。

【都民の皆さまへの調査に基づいた研究開発】

都産技研では、都民の皆さまを対象に豪雨災害について考えるグループワークを開催し、災害に対する意識や日ごろの備え、防災情報への要望など、「デザイン思考」を活用した防災課題の調査と分析に取り組んでいます。「デザイン思考」は、災害などの社会課題を分析し、科学技術

での解決を探る手法として注目されています。本研究では、産学公連携により住宅地や学校などを対象とした防災技術の開発・検証、および製品化を目指します。都内中小企業による防災製品（豪雨警戒センサー）を開発、実用化することで、都民の防災に役立てたいと考えています。



都内の住宅地や学校でも道路の冠水が増加しています。都民参加の意識調査から防災課題の解決を目指します。

2 研究の予定

2018年度	： 都産技研	豪雨警戒モニタリングシステムの全体設計
	フィード工業株式会社	豪雨警戒センシング技術の試作開発
	拓殖大学工学部デザイン学科	防災情報UXデザイン*の研究開発

2019年度以降：事業化・製品化に向けて、IoT対応ネットワーク型センサーへと発展予定

※UXデザイン：認識を向上させる情報伝達の仕組みや装置など、ユーザー体験を向上させるためのデザイン分野のこと

※都産技研は、企業や業界団体、大学などが協力し、それぞれが持つ技術とノウハウを融合し、技術開発や製品化に向けた研究を共同で推進しています。

本研究は2018年度の共同研究テーマとして採択されました。

【お問い合わせ】 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

デザイン技術グループ 木村 千明 TEL 03-5530-2180 FAX 03-5530-2765

経営企画部経営企画室 竹内由美子 TEL 03-5530-2521 FAX 03-5530-2536

<http://www.iri-tokyo.jp/>